普及現地情報

発信年月日：令和４年(2022 年)10 月 20 日
所　属　名：大津・南部農産普及課
番　　　号：A22007
部 門 分 類：140（飼料作物）
発 信 者 名：柴田、木村

子実コーンの刈り取り実演会の実施

９月 17 日に大津市南比良にて、大津・南部管内で初めて作付された子実コーンの刈り取り実演会が開催されました。

県内では、水稲に次ぐ中心的な作物として麦・大豆が取り組まれていますが、ウクライナ情勢などに起因する世界的な穀物価格の上昇もあり、家畜飼料として国産子実コーンへの期待と需要が高まっています。そこで、令和４年度は滋賀県子実コーン組合が設立され、県内各地で子実コーンの栽培が試行されており、大津・南部管内では大津市南比良の水田 1ha に作付けされました。

当課では、ほ場の排水管理、施肥設計や生育調査の実施に加え適期の雑草防除を呼び掛け、子実コーンの栽培を支援しました。収穫作業には機械メーカー協力のもと、子実コーン用ヘッダを付けた汎用コンバインを用いて収穫作業実演会が実施されました。大津市の農業者や滋賀県子実コーン組合の農業者など 16 名が参加し、活発な意見交換の場となりました。また、収穫作業は 10a あたり 10 分未満で機械の高い省力性が実感できました。

令和４年度の子実コーン栽培では、湿害による生育不良や鳥害による欠株の多発など、栽培上のさまざまな課題も明らかとなりました。令和５年度の大津・南部管内における取組は３経営体が計３ha で実施する見込みです。当課は安定的な栽培が実現できるように支援を続けていきます。

汎用コンバインによる子実コーン収穫

収穫された子実コーン